

# 子どもたちの生命と心を共に守っていきましょう

- 「いじめ」根絶のために -

## 「いじめ」について - 定義や構造など -

### 定義

同一集団内で単独又は複数の成員が、人間関係の中で弱い立場に立たされた成員に対して、身体的暴力や危害を加えたり、心理的な苦痛や圧力を感じさせたりすること。被害を受けた側の成員が「いじめられた」と認識すれば、加害者側の理由の如何にかかわらず「いじめ」が起こったと判断し、対応します。

内容 \*ぶつ、ける、つねる、仲間外れ、無視、物隠し、悪口、接触拒否、金品強要 等

- ・心理的ふざけ型 いやがらせ 持ち物隠し・破壊 故意の暴力 唾かけ 等
- ・心理的いじめ型 仲間外れ 無視 しつこい悪口・陰口 からかい 接触拒否 逃避 等
- ・物理的ふざけ型 着ているものを脱がす 等
- ・物理的いじめ型 現金持ち出しの強要 文房具等の破損 プロレスごっここと偽っての一方的暴力 等

発生及びエスカレートの要因 \*あくまで一般的な内容であり、個別のケースにより異なります。

### いじめの内容

- ・学校等に対し不適応状態にある者が仲間を求めるいじめ
- ・仲間同士の葛藤から生じるいじめ
- ・仲間内で自分の優位性を誇示するいじめ
- ・仲間の結束を図るためのいじめ
- ・他者との違和感からくるいじめ
- ・学級内の心情的な不安等から生じるいじめ 等

### いじめの背景

- ・規範的な価値判断が子どもの世界で築かれていないときに発生しやすい。
- ・表層化した人間関係から極めて容易にいじめの構造が生まれる危険性がある。

### いじめる理由

- ・相手に対する仕返しをする。
- ・相手は何もしていないが、なんとなく気に障る。
- ・相手の言動に対して、なんとなく腹が立つ。
- ・相手に自分の言うことを聞かせたい。
- ・相手がいい子ぶっていると勝手に判断している。 等

### いじめる側の特性

- ・学校に対する不適応感が強い。
- ・親密な友人関係を求めているが、素直に表現できない。
- ・社会規範にルーズな面がある。
- ・人間関係づくりに対して積極性が不足している。
- ・自己肯定感、自信、自己主張が欠如している。
- ・欲求不満の状況が続いている一方で、物事への耐性が欠如している。 等

### いじめの構造

- ・「いじめっ子〔加害者〕」の立場
- ・「いじめられっ子〔被害者〕」の立場
- ・「はやし立てて面白がって見ている子〔観衆〕」の立場 いじめを是認する存在
- ・「見て見ぬ振りをする子〔傍観者〕」の立場 いじめを暗黙で容認する存在